

# ヤナギヌカボ

タデ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

*Persicaria foliosa* (H.Lindb.) Kitag. var. *paludicola* (Makino) H.Hara

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

現在、生育地が1箇所に限られており、個体数も少ない。(現況:RO)

## 形態

茎の下部は斜めに倒れ、上部は斜上して枝を分け、無毛である。葉は長披針形～長針形、両端は細まり、やや厚く両面には毛があり、裏面には腺点がある。托葉鞘は筒状、やや同長の縁毛がある。

## 国内分布

北海道、本州、九州に分布する。

## 県内分布

南加賀区、内浦区のヤブツバキクラス域の低地に分布している。

## 生態など

高さ30～60cmになる一年生草本である。節から根を出し繁殖する。開花期は9～10月。そう果はレンズ形、あるいは3稜形、黒褐色で、光沢がある。

## 生育環境

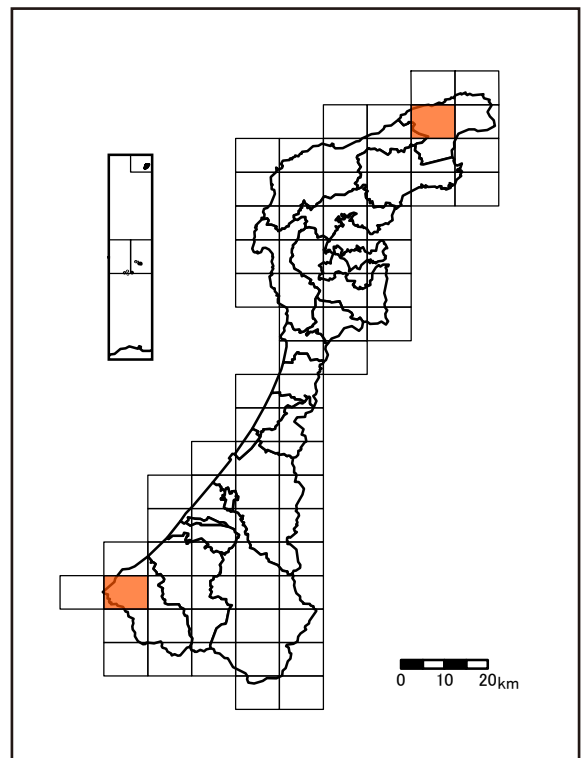
水湿地に生育する。

## 危険要因

湿地開発、管理放棄、自然遷移、産地局限。



林 二良・2005年10月7日・南加賀



県内の分布